

□・BASF

We create chemistry

広がりやすい疫病・べと病から守る

新規成分配合

ザンプロDM[®]フロアブル

治療的効果と優れた予防効果

■耐雨性 ■残効性 ■浸達性

**無人航空機
散布可能**

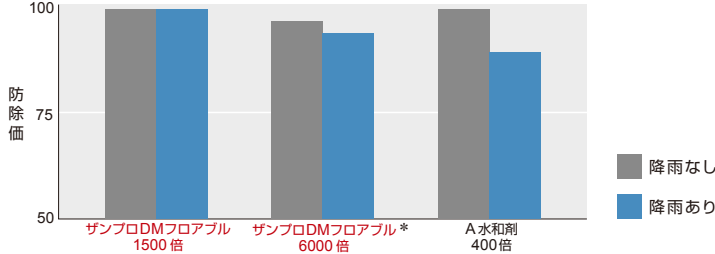
ばれいしょ
だいず、あずき
たまねぎ、ねぎ
適用拡大



ダブルブロックで殺菌

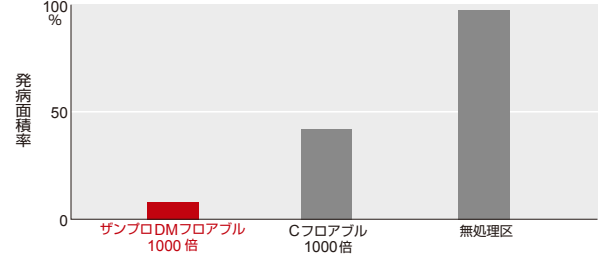
- 新規作用性の**イニシウム**[®](一般名: アメトクトラジン)と、菌糸伸長を阻害する**ジメトモルフ**の二つの有効成分で、疫病・べと病の生活環のほぼ全てのステージを強く阻害します。
- 葉面ワックス層に対して親和性を有することで、高い耐雨性および残効性を示します。
- 浸達性を有し、治療的効果も有します。

耐雨性に優れる



ポット植えのトマトに薬剤を散布し、風乾後に人工降雨機で30mm/hrの降雨処理を行った。降雨処理後に疫病菌を接種し、温室(23℃)で5日間発病を促したのち、病斑面積率を調査した。(2013年BASF田原研究所)

治療的効果に優れる



トマト幼苗に疫病菌遊走子懸濁液を接種し、23℃、過湿状態で20時間保管。その後、各種薬剤を散布後、発病面積率を調査。(2013年BASF田原研究所)

ザンプロDMフロアブルの使い方のポイント

1. 使用する前にボトルをよく振る
2. 薬剤投入時にはストレーナー(ネット・メッシュ等)を付ける
3. 使用後は散布タンクをよく洗浄する
4. できるだけボトルを1回の散布で使い切る

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アメトクトラジンを含む農薬の総使用回数	ジメトモルフを含む農薬の総使用回数
小粒種ぶどう 大粒種ぶどう	べと病	2000~3000倍	200~700ℓ/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布		2回以内
だいず		1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫30日前まで				
あずき	茎疫病	8~16倍	0.8~1.6ℓ/10a	収穫7日前まで		無人航空機による散布		
		1000~1500倍	100~300ℓ/10a			散布		
ばれいしよ	疫病	8~12倍	0.8~1.2ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内	3回以内
		1000倍	100~300ℓ/10a			散布		
		8倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による散布		
		16倍	1.6ℓ/10a			散布		
トマト・ミニトマト	べと病	1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで		無人航空機による散布		
きゅうり	べと病	1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで		無人航空機による散布		
たまねぎ	べと病 白色疫病	8倍	0.8ℓ/10a	収穫7日前まで		無人航空機による散布		
ねぎ	べと病	16~24倍	1.6ℓ/10a	収穫14日前まで		散布		
		1500~2000倍	100~300ℓ/10a			無人航空機による散布		
		8倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による散布		
レタス・はくさい	疫病	1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで		散布		
たばこ	疫病	1000~1500倍	100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内

△効果・薬害に関する注意事項

1. 使用に当たっては容器をよく振ってください。
2. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪播で使用してください。
3. ばれいしよに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。
4. ぶどうに使用する場合は、果粉溶脱のおそれがあるので大豆大以降の散布をさけてください。
5. 無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - ① 散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
6. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△安全使用上の注意

1. 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
2. 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
3. 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
4. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

Ⓜ=BASF社の登録商標

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。● 防除日誌を記載しましょう。

このチラシの記載内容は2021年10月現在のものです。

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>